

平成 23 年 度

事 業 報 告 書

一般財団法人千葉県観光公社 平成 23 年度事業報告

I 事業概要

当公社は、平成 23 年 4 月 1 日に公益法人制度改革による一般財団法人に移行し、民営化された法人として新たなスタートを切った。事業実施にあたっては、利用者の立場に立った真心のあるサービスの提供に努め、多くの利用者に憩いと安らぎの場を提供し、地域振興及び地域経済の活性化に貢献することを目的として、千葉県から指定管理者として指定を受けた国民宿舎サンライズ九十九里を(株)休暇村サービスと共同で、千葉ポートパークを林造園土木(株)と共同で、内浦山県民の森・館山野鳥の森を管理運営した。また(財)千葉県職員互助会から新港運動公園の管理を受託した。

かねてから引き続く経済不況、デフレ基調の厳しい経済情勢のもと、増収増益を目指し、役職員一丸となって運営に取り組んできた中、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災発生に伴う風評被害等の観光業界への影響は多大であり、公社の基幹事業であるサンライズ九十九里も大幅な減収となったことから、公社経営は非常に厳しい状況であったものの、公社全体で 40,954 千円の利益となった。

II 事業の実施状況

1 観光レクリエーション施設の管理運営事業(宿泊施設の利用状況、事業収入)

(サンライズ九十九里、千葉ポートパーク等)

23 年度の観光レクリエーション施設における利用者数は、前年度に比べ 136,349 人少ない 148,475 人であった。

事業収入は、東日本大震災後の収入減により、前年度に比べ 229,774 千円少ない、915,707 千円となった。

○サンライズ九十九里

サンライズ九十九里は、季節ごとの宿泊プランや入込み状況に応じた企画商品を開発し、顧客へのDMの発送はもとより、駅頭や各種イベントでのチラシ配布、企業・団体・旅行代理店・大学等への訪問営業など役職員一丸となったPR活動、新聞・

雑誌等での広告やパブリシティによるPRに努めたが、東日本大震災がもたらした風評被害等の影響は多大で、特に夏休み期間中の家族連れによる宿泊数が低迷したこと等の要因により、最終宿泊人数は57,882人となった。また、震災により建物被害を受けた屋内温水プールは、被害調査、改修工事に長期間を要し、結果として23年度は1年間を通じて休館を余儀なくされた。

事業収入は前年度に比べ227,869千円減の893,392千円となった。

○千葉ポートパーク等

新港運動公園の利用人員は増員となったが、千葉ポートパーク、パテオの利用人員の減員により前年度に比べ16,268人少ない77,153人となった。

○観光レクリエーション施設の利用状況 (単位:人)

区 分	23年度	22年度	比 較
宿泊者 (サンライズ)	57,882	74,691	▲16,809
休憩会議 (サンライズ)	13,440	116,712	▲103,272
利用人員 (千葉ポートパーク等)	77,153	93,421	▲16,268
利用者計	148,475	284,824	▲136,349

○観光レクリエーション施設の事業収入 (単位:千円)

区 分	23年度	22年度	比 較
単独収入	898,540	1,128,314	▲229,774
サンライズ	893,392	1,121,261	▲227,869
ポートパーク等	5,148	7,053	▲1,905
受託料収入	17,167	17,167	0
ポートパーク等	17,167	17,167	0
事業収入計	915,707	1,145,481	▲229,774
サンライズ	893,392	1,121,261	▲227,869
ポートパーク等	22,315	24,220	▲1,905

2 県民の森施設の管理運営事業（入園者・施設の利用状況、事業収入）

（内浦山県民の森、館山野鳥の森）

23年度の県民の森2施設における利用者数は、前年度に比べ30,747人少ない211,145人であった。

事業収入は、前年度に比べ829千円減少し、128,569千円となった。

○内浦山県民の森

23年度の内浦山県民の森の入園者数は、前年度に比べ24,914人少ない138,471人となった。

事業収入は、前年度に比べ308千円増加し、104,025千円となった。

○館山野鳥の森

23年度の館山野鳥の森の入園者数は、前年度に比べ5,833人少ない72,674人となった。

事業収入は、前年度に比べ1,137千円減少し、24,544千円となった。

○県民の森施設の利用状況 （単位：人）

区 分	23年度	22年度	比 較
入園者	211,145	241,892	▲30,747
内浦山	138,471	163,385	▲24,914
館山野鳥	72,674	78,507	▲5,833
施設利用者	37,626	34,007	3,619
内浦山	37,626	34,007	3,619

※施設利用者は入園者の内数

○県民の森施設の事業収入

(単位：千円)

区 分	23 年度	22 年度	比 較
単独収入	63,855	63,683	172
内浦山	60,406	59,145	1,261
館山野鳥	3,449	4,538	▲1,089
受託料収入	64,714	65,715	▲ 1,001
内浦山	43,619	44,572	▲ 953
館山野鳥	21,095	21,143	▲ 48
事業収入計	128,569	129,398	▲ 829
内浦山	104,025	103,717	308
館山野鳥	24,544	25,681	▲1,137

以上が、23年度の主な事業の実施状況であり、その結果、公社全体での当期一般正味財産増加額は40,954千円であった。

○決算状況（概要）

(単位：円)

経常増減の部	金 額
営業収益	1,065,522,121
営業外収益	1,847,735
退職給付引当金取崩差額	45,868,347
合 計	1,113,238,203

営業費用	1,071,801,104
営業外費用	482,797
合 計	1,072,283,901

当期経常増減額	40,954,302
---------	------------

経常外増減の部	金 額
	0

当期一般正味財産増減額	40,954,302
-------------	------------